

2020年9月3日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

独立行政法人都市再生機構が発行するソーシャルボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎、以下当社）は、このたび、独立行政法人都市再生機構（以下UR都市機構）が発行するソーシャルボンド⁽¹⁾（以下本債券）の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本債券の条件が決定されましたことをお知らせします。

UR都市機構は、我が国が抱える、「人口減少、少子高齢化、東京一極集中という経済社会構造上の大きな課題」や、「巨大地震や気候変動に対応するための防災、減災、インフラの老朽化対策の必要性」という社会課題を解決し、持続可能な社会の実現に貢献することを基本姿勢としている独立行政法人であり、2020年8月に、本債券を発行するための枠組みであるソーシャル・ファイナンス・フレームワークについて、ICMA（International Capital Market Association／国際資本市場協会）が定義するソーシャルボンド原則2020に適合する旨、株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオンを取得しています。

当社は、金融機関として果たすべき社会的使命を自覚し、持続可能な社会の実現に貢献するための取組みを積極的に推進しており、社会貢献分野においてもソーシャルボンドの引受けをはじめ、インベストメント・チェーンの高度化や金融機能を通じたお客さまの成長への貢献、証券プロフェッショナルとしての社員スキルおよびお客さま満足度の向上、より良い職場環境作り、チャリティ、ボランティア活動等に取り組んでいます。

2006年に国連責任投資原則（PRI: Principles for Responsible Investment）が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金使途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド等の発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本債券の概要)

| | | | |
|------|----------------------------------|-------------|-------------|
| 発行体 | 独立行政法人都市再生機構 | | |
| 債券名 | 第164回都市再生債券 | 第165回都市再生債券 | 第166回都市再生債券 |
| 取得格付 | AA+(R&I),A1(Mdy's) | | |
| 年限 | 20年債 | 30年債 | 40年債 |
| 発行額 | 100億円 | 100億円 | 200億円 |
| 利率 | 0.464%/年 | 0.709%/年 | 0.806%/年 |
| 発行日 | 2020年9月18日 | | |
| 主幹事 | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、SMBC日興証券、みずほ証券 | | |
| 資金使途 | 都市再生業務及び宅地造成等経過業務 | | |

- (1) ソーシャルボンドは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のこと。

以上